

学習指導要領に示された「将来に向けて育成すべき資質・能力の3つの柱」

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を総合的に捉えて構造化

【基礎的な知識・技能の確実な習得】
何を理解しているか 何ができるか

【課題解決を図るための思考力・判断力・表現力等の育成】
理解していること・できることをどう使うか

【学びに向かう力や人間性の育成】
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

東京都教育委員会 教育目標

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

小笠原村教育委員会 教育目標

- ・互いの人格を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ子供
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする子供
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな子供

小笠原中学校 教育目標

- ・よく学び、考え、行動する人
- ・やさしくたくましい人
- ・社会の一員として貢献できる人

目指す学校像

「笑顔 改善 信頼」

- ・秩序と潤いの中で生徒が生き活きと活動し、笑顔があふれる学校
- ・課題に迅速に対応し、積極的に教育活動の改善・充実を図る学校
- ・保護者や地域から信頼され、安心して生徒を通わせることができる学校

育てたい生徒像

「教養 品格 礼儀」

- ・物事を多様な視点から考え、自信をもって自らの意見や主張を発表できる生徒
- ・人の気持ちや立場を深く考えながら、公正な判断に基づいて行動できる生徒
- ・礼儀を重んじ、進んで地域や社会のために役立てようとする生徒

教育活動の重点目標と方策

コミュニケーション能力の育成～多様な考えをふまえ、自分の意見を発信できる生徒を育てる～

確かな学力の向上

- ①生徒による授業評価の結果や、国・都・村の学力調査の結果を分析し、「指導と評価の一体化」の視点に立った適切な学習活動や評価計画、授業改善推進プランへの反映等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。
- ②放課後学習教室「おが中寺子屋」を開催や、家庭学習ノートの充実など、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図る。

豊かな心の育成

- ①自尊感情・自己肯定感・自己有用感を高め、命を尊重する心を醸成し、自他ともにかげがえのない存在であることを自覚させるなど、心の教育及び人権教育を教育活動全体で推進する。人間性を豊かにするとともに、学習者端末を活用し、不登校生徒の学習権を保障するなど、現代の様々な人権課題に適切に対応する。
- ②道徳的価値に基づいた自己の生き方について考え、自他の違いを認め尊重する思いやりの心情を基盤に、コミュニケーション能力の育成をねらいとした道徳の校内研究を進める

健やかな体の育成

- ①保健体育授業や部活動、社会体育を通して積極的に運動に親しみ、体力づくりに取り組む。また、体力テストの結果を分析し、課題の克服のために授業の工夫改善を行う。意欲を喚起し、教育環境を活かして運動の日常化を図り、自ら健やかな体づくりを進められるようにする。遠泳大会、小中高連合運動会、村のロードレース大会等に向けた取組を体力向上に有効に活用する。
- ②食や性に関する正しい知識等を身に付けるとともに、生徒が必要な情報を自ら収集し、適切な意志決定や行動選択を行い、健全な生活を送るための資質・能力を育成する。

信頼される学校づくり

- ①学校評価アンケート等を活用して、保護者の願いや思いを学校に反映させていくとともに、「地域懇談会」を開催し、広く地域・保護者との情報共有や協議会などを行うことで、「社会に開かれた学校」の実現をめざす。
- ②「統合型校務支援システム」を活用し、日々の学校生活について積極的に発信するとともに、ホームページやフェイスブック等の更新についても周知を図る。
- ③小中一貫教育の充実をめざし、小学校との各教科のまとめり等において、中学校教員の専門性を活かしたティーム・ティーチングを実施する。